



大阪日々誌

第十五号

小島屋

徳島
島土政
九一

土佐堀
五丁目金比羅
船宿中村十助

方今明治七年正月二日の事

生れ死男船を雇ひ既不出帆

明日播三沖から荒く海原を忽ち船中立ちさぐ水支の血も舟頭八深手をさぐ逃廻る三人の

あるすい勇助八魂をさぐ事浪の上切殺さる勢小依頭平身命をさぐへ其す捨あも舟を風不任せ

走るやふ小豆島ある浅瀬へのき勇助八舟をさぐと二計浅る方へ上陸し其地發言察へ

許ふ敷入るを付るを見て兩人互に切伏せ不孩子を持って水中へ入り跡三人の写真のあり行へ白浪

まる折ら

湖先町向井勇助との者便舟のり組

者ある報知五百七十六号

現然

勇助へ希有の命を拾ひ
悪友渡縣より送り
いのちを種

撫救の子細

りのげあるのか

あるおとが天より授る

一命を軽ぐか

勇助へ希有の命を拾ひ

悪友渡縣より送り

いのちを種

